

(資料7)

ベルリン・ミッテ区議会第5次任期印刷物 ドイツ語から翻訳(尚脚注は訳者による付記で、ドイツ語原文にはない)
差し替えシート

修正議案 ¹ 修正案提案者：90年連合／緑の党議員団 ノイゲバウアー、シュティエヴァー他90年連合／緑の党議員団議員 元印刷物の種類：議案 元提案者：左派党議員団 ウルクス、カルチ、ベツトガー他左派党議員団議員	印刷物-No: 2745/V 元の日付:2020年10月27日 修正日付:2020年12月1日
平和の像を保持する — 性暴力被害者を想起することを可能にする	
審議経過: 日付 委員会 結果 2020年11月5日 ミッテ区議会 BVV-M/0042/V 審議未了 2020年12月1日 ミッテ区議会 BVV-M/0043/V	

区議会は、以下を可決されたい：

区は、ブレーマー通／ビルケン通角へのいわゆる「平和の像」の設置のため、コリア協議会が都市空間の芸術の特別使用を求めた申請の認可撤回につき、係争を終了すべく、行政裁判所に対して原告の言い分を認めることを、求められる。²

さらに、暫定設置の認可は、認可された設置期日と、道路工事のため遅延した実際の設置との間で削減された期間の6週間³を、延長することとする。

その上、「平和の像」を恒久的に区に設置しておくために、区は設置者とともに解決策を見出すべきである。区議会はこれに関与することとする。

理由：

第二次世界大戦中の日本軍による東アジアの女性たちの組織的な性的搾取（いわゆる慰安婦）に関していえば、歴史的な事実は明確である。

東アジアの歴史のこの部分に対する批判的な芸術上の取り組みは、まさにベルリンの歴史と、その上に築かれたミッテ区、ベルリン市ならびにそこに住む市民社会が自覚するところにかんがみ、公共空間において進められて然るべきである。

日本の国家も、1993年にいわゆる「河野談話」をもって、

<https://www.mofa.go.jp/policy/women/fund/state9308.html> 自から命じた歴史調査に基づき、事実を、またそれゆえ組織上かつ道義上の責任を、認めた。

「平和の像」を、我々は、武力紛争時の、また平和時の性的暴力に関する議論を喚起するものとみなす。

2745/V

2020年12月1日

日印刷物

ページ: 1/2

¹ 左派党議員団による原案は、11月5日の区議会に向けて10月27日に提出された。これに対し、保守党のキリスト教民主同盟 CDU が、日本政府の意を汲んだ修正案を提出。さらに緑の党（正式党名：90年連合／緑の党）が、左派党の議案を復活させる修正案を11月5日の区議会に提起。同案は時間切れで同日は審議未了となり、12月1日の区議会に再度改上程された。なお本文書は、最終更新の修正案、CDU 修正案、左派党原案の順に配置されている。

² この項は、左派党の原案を、緑の党が、法律上より正確な表現に書き換えている。内容には異同なし。ただし、すでに12月1日時点で、区長は認可撤回の取り下げを決めており、同日の区議会でのことを認めている。

³ 左派党による元案の「週数間」を「6週間」と具体的に修正。

キリスト教民主同盟CDU議員団による修正議案⁴:

区は、平和の像をめぐる紛争を、添付の碑板なしに、1年間設置する方向で解決することを、求められる。

理由:

「平和の像」を、我々は、武力紛争時ならびに平和時における性的暴力に関する議論を喚起するものとみなす。単に第2次世界大戦の経緯における日本とコリアの間の経験に焦点を絞ったのみの描写と叙述は、ミッテ区には無縁である。

左派党議員団による原文⁵:

区は、ブレーマー通／ビルケン通角へのいわゆる「平和の像」の設置のため、コリア協議会が都市空間の芸術の特別使用を求めた申請の認可撤回を取り下げられることを、求められる。

さらに、暫定設置の認可は、認可された設置期日と、道路工事のため遅延した実際の設置との間で削減された期間の数週間を、延長することとする。

その上、「平和の像」を恒久的に区に設置しておくために、区は設置者とともに解決策を見出すべきである。区議会はこれに関与することとする。

理由:

第二次世界大戦中の日本軍による東アジアの女性たちの組織的な性的搾取（いわゆる慰安婦）に関していえば、歴史的な事実は明確である。

東アジアの歴史のこの部分に対する批判的な芸術上の取り組みは、まさにベルリンの歴史と、その上に築かれたミッテ区、ベルリン市ならびにそこに住む市民社会が自覚するところにかんがみ、公共空間において進められて然るべきである。

日本の国家も、1993年にいわゆる「河野談話」をもって、

<https://www.mofa.go.jp/policy/women/fund/state9308.html> 自から命じた歴史調査に基づき、事実を、またそれゆえ組織上かつ道義上の責任を、認めた。

「平和の像」を、我々は、武力紛争時の、また平和時の性的暴力に関する議論を喚起するものとみなす。

結果⁶

- 可決
- 変更して可決
- 否決 /本件終了
- 取り下げ
- _____ (が主導) に回す

2745/V

2020年12月1日印刷物

ページ: 2/2

(訳: 梶村道子)

⁴ 左派党議員団が11月5日の区議会に向けて上程した議案に対して、保守党のキリスト教民主同盟 CDU が修正案を提出。この修正案の後、緑の党が、左派党の議案を復活させる新たな修正案を、11月5日区議会に提出。

⁵ 脚注1、2で記した修正点以外は、緑の党による修正議案と異同なし。

⁶ 議案は可決された。入手 pdf ファイルが区議会開催前に公開のものであるため、本欄に記載なし。